

地域の課題解決や価値創造につながる活動を募集します!

# WISE Living Lab 共創企画



WISE Living Labは“次世代郊外まちづくり”の活動拠点であり、住民・行政・企業・大学が地域の課題を共有し、解決のためのアイデアを一緒に考え、具体化していくための共創の場です。

そのWISE Living Lab内の「共創スペース」を活用し、次世代郊外まちづくりと共に“郊外住宅地の課題解決と価値創造”を目指した企画を募集します。

## 共創企画 募集要項 ※募集期間：2021年3月末まで

以下の条件に合う活動については、WISE Living Lab「共創スペース」の利用料が無料となります。

### 条件

- ・産学公民連携による次世代郊外まちづくりの推進につながる活動であること
- ・たまプラーザ地域の課題の解決につながる活動であること
- ・従来の仕組みや既成概念にとらわれない、新たなモノ・コト・サービスを生み出す活動であること

### ご協力のお願い

- ・次世代郊外まちづくりやWISE Living Labの広報活動にご協力をいただくことがあります(取材の受け入れ、写真や動画の使用許可等)
- ・次世代郊外まちづくりやWISE Living Labの事務局からの各種メールの受け取り(お知らせメール、メールマガジン)
- ・次世代郊外まちづくりやWISE Living Labの自主企画やイベントへの積極的な参加

### 応募方法

- STEP① 所定の「申込書」に必要事項をご記入し、ご提出ください
- STEP② 事務局よりご連絡差し上げます
- STEP③ 後日面談等を実施します

詳細や応募はこちら ▶ <http://sankaku-base.style/support/>



随時募集

次世代郊外まちづくり  
WISE CITY



<http://jisedaikogai.jp/>  
Web サイトはこちら



横浜市



東急

SDGs未来都市・横浜



横浜市は2018年6月に、SDGsの達成に向けて優れた取組を提案する都市「SDGs未来都市」と、その中で特に先導的な取組をする「自治体SDGsモデル事業」に選定されました。「環境を軸に、経済や文化・芸術による新たな価値・賑わいを創出し続ける都市の実現」をビジョンに、SDGs未来都市の横浜型大都市モデルに挑戦しています。

WISE CITY

WELLNESS・WALKABLE & WORKING  
INTELLIGENCE & ICT  
SMART・SUSTAINABLE & SAFETY  
ECOLOGY・ENERGY & ECONOMY

2020年4月発行

編集・発行

横浜市・東急株式会社

[連絡先] 横浜市建築局住宅再生課

☎045-671-4083

# 次世代郊外 まちづくり通信

vol.32

次世代郊外まちづくり通信は、「次世代郊外まちづくり」のさまざまな活動をお知らせし、地域の皆さまをはじめとして多くの方々に知ってもらうためのニュースです。



## 2020年度 活動方針

# 「田園都市で暮らす、働く」の実現!

持続可能な郊外住宅地のためには、地域で新しい暮らし方が生まれ、充実したライフスタイルを送ることが大切と考えます。既存のまちの様々な施設、環境、そして人々の活動を活かして、「住む」だけでなく、地域の様々な「活動」が活発に展開され、新しいビジネスが生まれ、多様な「働き方」が可能な新しいライフスタイルが実現できるまちづくりを目指します。

## 2020年度 リーディングプロジェクトをご紹介します

### 1 郊外住宅地の暮らしやコミュニティを支えるインフラ、ネットワークづくりに関する取り組み

地域に関わる多様な組織・グループがともにまちづくりに取り組めるよう、企業と連携しながら活動を支援する場の創出や様々な活動のネットワーク化を進めます。



### 2 コミュニティ・リビング実現のための取り組み

地域の課題整理やリソースの活用に向けて有識者や関係者等を交えた検討を進めます。

### 3 エリアマネジメント等の推進に関する取り組み

連合自治会や商店会、各エリアマネジメント組織など、地域の価値向上に向けて活動する団体による情報共有・意見交換を行う場を創出します。

### 4 地域の経済モデル創出に関する取り組み

起業やプロボノ、NPO、企業など、地域に様々な「働き方」を創出するための仕組みを検討します。新たな「働き方」が生まれることで、地域経済が循環し、持続可能なまちを目指します。

### 5 「次世代郊外まちづくり」の情報発信、及びプロモーション

WISE Living Lab や CO-NIWA たまプラーザ等、コミュニティ・リビングの拠点を活用し、次世代郊外まちづくりの活動の情報発信をします。

# 2019年度活動報告

## 1 郊外住宅地での新たな就労のあり方や働き方の推進

### ●「田園都市で暮らす、働くプロジェクト」の実施

田園都市線沿線における、豊かなライフスタイルを創出するため、「拠点歩き」「くらす Bar」「セカンドキャリア地域起業セミナー」「小商い講座」「プロボノ講座」「あおば地域起業相談室」を開催しました。



### ●ヨコハマSDGsデザインセンターとの連携による「ICTを活用した新しい働き方の社会実験」の実施

ヨコハマ SDGs デザインセンターを中心に、ソフトバンク、向洋電機土木、美しが丘ワーキングスペースの連携により、テレワークの活用による超短時間・職住近接の新しい働き方「ショートタイムテレワーク」の社会実験を開始しました。

## 2 まちぐるみの保育・子育ての推進

### ●子ども・子育てタウンミーティング／ファミリーリソースプロジェクト実施

2014年にスタートした「子ども・子育てタウンミーティング」を2019年度は3回実施。さらに2月には「ファミリーリソースプロジェクト」を開催しました。

### ●まちぐるみの保育・子育てに関する活動のまとめBOOKを制作

今までの活動をまとめた冊子を作成し、活動の普及に努めました。



## 3 新しい地域の移動のあり方の提言

### ●「地域内移動の社会実験」報告会を開催

2018年度実施した「郊外住宅地における地域移動」に関する報告会を実施しました。



### ●「移動」に関する社会実験への協力

企業や大学など他の主体による移動に関する社会実験に関して、告知や会場提供などにご協力しました。



## 4 郊外住宅地における新しい暮らし・住まいの提言

### ●「暮らしと住まいのランドデザイン」に基づく空間戦略

コミュニティ・リビング実現に向けて2014年に策定された「暮らしと住まいのランドデザイン」をもとに、土地利用転換の状況を把握するとともに、まちづくりの考え方の周知を行いました。

## 5 エリアマネジメントの推進

### ●「美しが丘次世代ネットワーク情報連絡会」開催

連合自治会や商店会、行政、エリアマネジメント組織である一般社団法人ドレッセ WISE たまプラーザエリアマネジメントなど、「街の価値向上」にむけて活動する団体による情報共有・意見交換を行う場「美しが丘次世代ネットワーク情報連絡会」を定期的に開催しました。(月1回程度)

### ●「たまプラーザ版 リビングラボ」の実施

住民や企業、大学等と共創してソリューションを生み出す「たまプラーザ版リビングラボ」の先行プロジェクトを実施しました。

- ① たまプラーザ・コネク × NTT × NTTドコモ「IoT・ICTを活用した“たまプラーザ版リビングラボ”プロジェクト」
- ② 地域の子育てママ × KDDI 総合研究所「ママたちのココいいをカタチにしてみたらプロジェクト」

### ●住民による地域課題の解決を支援する「共創企画」の実施

WISE Living Lab の共創スペースの提供を通じて、地域の住民によるまちづくり活動を支援しました。8団体(9企画)にご利用いただき、新たな課題解決の芽が生まれました。

#### 共創企画一覧 (2019.4 - 2020.3)

- 1 100段階プロジェクト
- 2 「街のはなし」プロジェクト
- 3 元石川高校アントレプレナーシップ講座
- 4 元石川高校アントレプレナーシップ講座スピンアウト企画
  - ① タピオカパフェの開発
  - ② 次世代郊外まちづくり通信 元石川高校生版制作
  - ③ 次世代郊外まちづくり Instagram 発信
- 5 M-NEX プロジェクト
- 6 cicceno citta (チッチェーノ・チッタ)
- 7 たまプラーザ・みまもりあいプロジェクト
- 8 カードゲームで学ぶSDGs  
～自分と地域・世界のつながりを体感しよう!～
- 9 美しが丘健康ウォーキング



カードゲームで学ぶSDGs



M-NEX プロジェクト



「街のはなし」プロジェクト



チッチェーノ・チッタ

### ●元石川高校生とのコラボレーション

元石川高校の「アントレプレナーシップ」の授業にて「高校生によるまちづくりの情報発信」とのテーマで15のアイデアを提案いただきました。

さらにそこからスピンアウト企画(PEOPLEWISE CAFEのメニュー開発、次世代郊外まちづくり通信特別号、Instagram発信)も生まれました。



## 6 次世代郊外まちづくり」の情報発信、及びプロモーション

### ●次世代郊外まちづくり通信の発行

活動の様子や告知をまとめた「次世代郊外まちづくり通信」を計4回発行。モデル地区の住民の方を中心に周知につとめました。

### ●その他の取り組み

WISE Living Lab を利用した地域の情報を発信するパネル展示や、夏まつりでのブース設置。さらにHP等を使った情報発信を進めました。

